

子供の危険を守るために（大人がで きること）

○環境点検（通学路における危険箇所）

通学路における子供に対する連れ去り防止は、危険箇所を排除し、物理的に犯人が犯罪を敢行できない環境づくりが重要です。

通学路における危険箇所を確認するポイントとしては、

- ・見通しを妨げる樹木、看板、雑草などがある場所
- ・連れ込まれると外部から簡単に発見できない空き家、バス停などの建物や生垣などがある場所
- ・ガードレールなどの設備や歩道段差がない歩道など、危険箇所がどこにあるのかを、子供と一緒に大人が通学路を歩いて確認します。
- ・危険箇所を発見した場合は、物理的に危険性を排除することができれば、警察、自治体、地域住民が協力して環境の改善を行い、排除できなければ、子供に対して普段から注意するように教育しましょう。

○教育（命を守る距離、5つのやくそく）

『命を守る距離』とは、相手との間合いを示したもので、これ以上近づくと、咄嗟の攻撃に対応できなくなってしまう。

命を守る距離の目安は、2人が腕を広げて立ち、両手で新聞紙の長辺（長い方の辺）を丸めたものを持った距離で、概ね1メートルです。

知らない人が近づいてきた場合はもちろん、近所の人、顔見知りであっても、この命を守る距離を保つことを覚えてもらいましょう。

子供が気付かない間に接近していることもあるため、背後を含めた周囲も常に注意することも教えてあげてください。

命を守る距離

- ① 距離を覚える
 - ・実際に新聞紙を持って距離を覚える。
- ② 距離を保つ方法を覚える
 - ・相手が歩いて近づいてきた場合に、相手から目を離さず、後ずさりするなどして、命を守る距離を保持する方法を覚える。
 - ・前方、側方、後方から近づいてきた場合を繰り返し訓練する。
- ③ 背後からの接近に備える
 - ・常に背後にも注意を払うよう指導する。

5つのやくそくセーフティファイブ

- ① 1人にならない
 - ・1人でいる子供が狙われる。
 - ・公園や商業施設などでトイレに行きたくなったら誰かに付いてきてもらう。
- ② ついていかない
 - ・犯人は、親切な人、困っている人のふりをしている人でも絶対について行かないようにしましょう。
- ③ 大声を出す
 - ・何かあったら大声を出して助けを呼ぶ。
 - ・防犯ブザー、防犯笛なども効果的。
- ④ 近づかない
 - ・一度、手足を掴まれたら簡単には逃げられない。
 - ・顔を見たことがある人でも、不用意に近づかない。
- ⑤ 話をする
 - ・どんな小さなことでも両親、家族、学校の先生などに直ぐに話しをするようにしましょう。

第16回芸術の連鎖祭り in IKEDA 2019を開催します

彫刻家や画家、陶芸家など形ある芸術作品から感じることを、歌人が形のない言語芸術（短歌）へと変化させ、ジャンルを超えた芸術を連鎖させる「芸術の連鎖祭り」。

県内外の著名な造形作家と歌人が、それぞれの作品を「対」にして、中央公民館ロビーに展示します。

16回目を迎える今回は33組の作品がそろいました。あわせて5月に実施した池田町短歌大会に寄せられた小中学生を主とした短歌作品展示も行います。

日常を忘れて文化の薫り豊かな時間を過ごしに、ぜひお越しください。

日時 8月10日（土）～9月1日（日）
展示は午前8時30分～午後5時15分。
最終日は午後4時まで。

中央公民館休日…毎週月曜日、第3日曜日
場所 中央公民館
主催 芸術の連鎖祭り実行委員会



▲昨年ようす

まちづくり工房「霞溪舎」からのお知らせ ◇お絵かき列車◇を開催します

夏休みの思い出に、親子でお絵かき列車に参加しませんか。普段は入ることのない養老鉄道「西大垣駅」の車庫内で電車を間近で見学したり、電車内でお絵かきを体験するイベントです。皆さんの参加をお待ちしております。

日時 8月31日（土）午前8時30分～正午
定員 15組（30人程度）

場所 養老鉄道池野駅「霞溪舎」

参加費 大人1,000円・子ども500円
申し込み・問い合わせ 8月10日（土）メ切。

NPO法人校舎のない学校 ☎45・9745

問い合わせ 揖斐警察署 ☎23・0110代